

# 研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の救急搬送に与える直接的な影響:単施設での観察研究

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2021年7月26日から8月11日、8月24日から9月5日の計30日間に、選手村や会場内で発生し、救急車で昭和大学江東豊洲病院に搬送された患者さんの症例

## 2. 研究目的・方法

オリンピック・パラリンピックのような大規模な集客イベントは、食中毒、感染症の流行、熱中症や落雷などの環境要因による傷害、交通事故、外傷など、地域の救急医療体制に大きな負担をかけることが知られています(J Environ Health. 2005;67:52-7. Public Health. 2008;122:1229-38.)。

日本ではそれに対して2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体が2016年に発足し、詳細な準備が進められ、マニュアルの作成やスタッフのトレーニング、様々な準備をおこなっていました(Acute Med Surg. 2021 Feb 2;8(1):e626.)。

本研究ではオリンピック・パラリンピック大会期間中のイベント関連の救急車搬送の割合を調査し、オリンピック・パラリンピック大会が救急搬送にかかわる直接的な影響を調査するのを目的とします。

対象は、2021年7月26日から8月11日、8月24日から9月5日の計30日間に、選手村や会場内で発生し、救急車で当院に搬送された症例といたします。対象となる方のデータは、病院内の診療録管理室にて、「3. 研究に用いる試料・情報の種類」の項目に記載しました情報を取得します。

## 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、実施機関の長の研究実施許可を得てから ~ 2022年3月31日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

救急搬送された患者さんの症例の情報(年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬、コンサルト科目、相談内容の性質、転帰)

## 4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 総合診療科

氏名：原田 拓

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6000

研究責任者：昭和大学江東豊洲病院 総合診療科 原田 拓